メセナ教員講座 2010 年度合格者の声

メセナ予備校教員講座

2012 年 1 月 19 日

目 次

1　国語 **2**

2　公民 **4**

3　地歴 **11**

4　英語 **13**

5　音楽 **14**

6　小学校 **15**

7　養護教諭 **16**

1　国語

高等学校・国語　　二次合格

メセナには一昨年度からお世話になっています。

一昨年度は「論文・専門・教養」とフルで受講していました。一昨年度の試験で，専門の知識が足りないと感じたため，昨年度は専門を 2 日に増やして受講しました。そのおかげで専門の点数が大幅に上がりました。

一次試験の古文は，実は専門の火曜日で使用したテキストに掲載されていた問題でしたので，かなり運が良かったと感じました。古文漢文は練習問題の量をこなすことだと思います。

一次の合格発表から 2 週間，精神的にとても苦しい日々が続きました。職場の同僚，生徒，メセナの先生方，二次対策受講者の支えと励ましのおかげで何とか乗り切ることができました。二次を終えて感じたことは，例年の試験に対応できるだけの対策ではダメだということです。例年以上の対策をし，何が起きても対応できる力を身につけることが必要だと思います。それこそ，我々も,「生きる力」が必要なのだと感じました。

今後,「塾に行ってたの？」と聞かれたら，胸を張って「メセナ」と答えます。そして，人として，教師として，自身の向上に励みたいと思います。二年間，本当にありがとうございました。

高等学校・国語　　二次合格

（1）一般教養・教職教養に関して

私は 7 回目の試験挑戦で初めて一次試験も突破することができました。一般教養・教職教養は毎年の積み重ねだと思います。教育心理・教育法規などさほど内容が変わらないところの対策はしていません。今年から「書くこと」を意識的にしました。問題文や重要個所を声に出しながら「書く」ことで頭にすんなりはいったような気がします。沖縄の遺跡や，社会情勢などは新聞に目を通し，気になるもの，試験に出題されそうなものはメモをとっていました。(新聞を読むことは二次試験の小論文・面接の際に最も効果を発揮します) メセナの月例テストを目標 63 点以上と決めて毎回受験しました。2 回ほどしか目標は達成できませんでした。しかし，解答解説を何回もじっくり読み，わからない語句を調べ，ノートに書いて覚えました。最後の最後まで月例テストの点数は伸び悩みましたが，本番では目標点数をとることができました。

（2）専門教科に関して

今回の古文の試験問題はメセナの古文教材（火曜日）から出題されました。解いたことのある問題が出題され，本当にラッキーでした。私は，古文，漢文を重点的に勉強しました。古文単語の暗記（類義語・対義語も含め），復習に多くの時間を費やしました。本文をノートに書き写し，品詞分解を細かいところまでしました。何回も繰り返すことで品詞分解や内容理解がスムーズにいくようになりました。問題を解くのは 1 日 1 題を心がけました。古文・漢文は，基本単語・用法・句法を押さえているだけで点数にすぐ結びつくこ

ともありました。専門教科の学習指導要領は自宅のトイレや風呂場，車の中で何度も繰り返し読み，覚えました。ここでのミスは絶対にしたくありませんでした。

評論文に苦手意識があったのですが，今年から気になる本，新聞を読むことを心がけていたせいか，なぜか読める，解けるようになりました。本文に書いてある内容，選択肢を論理的に判断することで，見当はずれな間違いがなくなりました。特別なことはしていません。上高先生が授業でする漢字チェックテストは何回も繰り返し勉強しました。すべて解けるようになったら漢字検定 2 級程度の実力がついていると思います。基本的に現代文はメセナの教材のみの対策でした。

国語常識・詩歌については，メセナでもらう教材のほかに，国語表現の教材を使用しました。

沖縄関係の内容は，過去問と様々な文献から抜粋しながらノートにまとめて覚えました。

学習に使用した文献・教材

- 『必携国語総合セミナー』浜島書店
- 『国語必携パーフェクト演習』尚文出版
- 『新国語要覧』大修館書店
- 『基礎からの古典文法』第一学習社
- 『発展３０日完成　古文（高校上級用）』日栄社
- 『発展３０日完成　漢文（高校上級用）』日栄社
- 『田中雄二の漢文　早覚え速答法』学習研修社
- 『マドンナ古文単語 230』学習研究社
- 『マドンナ古文常識 217』学習研修社
- メセナの教材一式

（3）二次試験

A　自己アピール文　何度も上高先生の添削指導を受けました。自分なりに納得のいくものに仕上げて提出しました。願書と同じような内容を書きました。先輩教師や管理者にも見てもらい指導を仰ぎました。

B　適性検査（YG 検査）　対策必要なし。ありのままに答えるのみです。

C　小論文　論文の対策は一次試験終了後から必死に取り組みました。失敗作も含めて 10 題以上 30 枚以上は書きました。指も痛くなり，すごく辛かったです。石川先生に毎日添削指導をしてもらいました。何度も指導を受けるうちに雛形ができあがり，序論が書きやすくなりました。小論文に使えそうなネタをノートにまとめ活用するように心がけました。

小論文は一朝一夕では身につきません。前もって対策をすることをお勧めします。二次試験までの限られた時間を有効活用させるためには事前準備が大切だと感じました。

D　面接　私の場合面接の最大の敵は緊張でした。だから，何度も練習しました。職場の上司・校長・教頭との練習，仲間との練習，メセナでの練習。スムーズに答えられるまで何度も練習しました。本番を想定した緊張感の中で何度も練習しました。練習を重ね自信を持つと，次第に言葉選びもスムーズになりました。

E　模擬授業　今回は「評論文」の教材を指定されました。当日には，2時間目の展開部分を行って下さいと課題をだされました。全時間分の指導構想を練り，どの課題が設定されようとも対応できなければいけないことがわかりました。自信をもって，声を張り，楽しみながらやることを心に言い聞かせて臨みました。

（4）最後に

メセナの受講生であったことをうれしく思います。メセナの受講生はそれぞれがライバルになります。しかし，一次試験合格の通知をもらい，二次対策に臨む際にはメセナの受講生同士が仲間になりました。二次試験に臨む者同士，同じ悩みを抱え，どのように対策するのかを話し合い，連絡を取り合って情報交換し，支え合って対策をしました。それぞれがライバルではあるけれど，みんなで協力して合格できたらという思いがありました。一次試験の時から情報交換をするとそれぞれが早い時期から切磋琢磨でき，実力の底上げにつながるのではないかと思います。

最後にメセナの強力な講師陣と事務のみなさまに心より感謝申し上げます。

2　公民

高等学校・公民　　二次合格

一次試験対策について

専門試験　まず，メセナでいただいた教材，問題をしっかりとやりました。今年の倫理の原典問題は，原典資料 (1)(2) をしっかり読むことで，正解の選択肢にたどりつく事ができたと思います。

次にセンター試験の過去問を全て解きました。間違えた問題，選択肢を 1 つに絞れなかった問題などをチェックし，分からなかったことはノートに書き留めしっかりと復習しました。一般教養の対策として，地理・歴史も勉強していたのですが，公民との関連性が高く，結果的に専門対策としても役立ちました。

また，新聞を読む際に，記事に応じて勉強したことをアウトプットするといったことを繰り返しました。そうしながら,「これは問題になりそうだな」「自分だったらこうやって問題を作るな」といったことを考えながら新聞を読むようにしました。

教職・一般　これまで一般教養は沖縄問題ぐらいしか勉強してこなかったが，今年は自然科学・地歴などに力をいれました。勉強方法としては，メセナの教材と合わせて，NHK 高校講座（ホームページから見ることができます）を視聴して勉強しました。

学習指導要領は，毎日 10 から 15 分ぐらいで，1 つのまとまりずつ読むようにしました。

二次試験について

論文　前年度の試験時に，1次試験の結果が分かるまで対策を行った。今年度は4月からメセナの論文講座を受け，対策していた。論文用のノートにテーマに沿った序論，本論のネタをメモし，メモを眺めながら頭の中で文章を組み立てて行く様なイメージトレーニングを行っていた。しかし，正直，練習不足であったと思う。時間内に書き終える練習をしっかり積んでおいたほうが良いと思う。

模擬授業　私はこれまでに公民の授業をしたことがなかったので，ここが最大の山場だと思っていました。出題範囲が経済全般と広範囲だったため，とにかく練習の回数をこなすことを心がけました。本番までには，15から16本ぐらいの授業を用意して一通り練習しました。黒板が無くても，車の中，入浴中などあらゆるところでイメージ授業を行いました。

当日は，1回練習していた内容が出題されたため，落ち着いて行うことができました。意識していたことは「1. めあてをしっかりと強調する」「2. 丁寧に授業をすすめる」「3. 表現豊かに」といった点でした。試験官の一人は公民の指導主事の先生でした。以前，教育センターでの研修を受けた際にこの先生の授業を拝見する機会があったのですが，とてもユニークで表現豊かな先生だという印象を受けました。試験当日の模擬授業では，私の授業をみてニコニコしてくださっていたので，相性が良かったとも思います。のびのびと授業をすることができたと思います。

面接　最初の2問以外は，昨年度と同じような質問で，メセナの対策でも練習していたので落ち着いて答えることができた。メセナからもらった質問予想を眠る前などに読んで答えをイメージして対策した。その他，場面指導に関する質問への対策として市販の対策本なども目を通した。当日の質問に関しては，実際に指導してきたことを思い出しながら答えることができた。

面接を受けて感じたことは，組織として運営される学校において，職員同士の助け合いやチームワークを図っていくことができるかがとても重要視されていると感じた。

終わりに

自分は一次試験〇位・二次試験〇位という順位でした。昨年，一昨年が合格者1人という状況だったので今年は本当にラッキーだったと考えています。実際これまでに合格してきた方々，今回合格した他の受験者に比べると実力ははるかに劣っていると感じています。このことを常に意識して，これからも勉強に，教師としての資質向上に努めていきます。

メセナには4年程通わせていただきました。入った当初は常に下位で他の受講者に圧倒され，自分がいかに何も知らないかを痛感させられました。そんな自分が合格することができたのは，メセナの先生方の授業を通して，公民の勉強の楽しさを感じることができたからだと思います。これからは，生徒に学びの楽しさを伝えらえる教師となるよう頑張ります。

本当にありがとうございました。これからもよろしくお願いいたします。

高等学校・公民　二次合格

二次試験

自己アピール文　これまでは合格者のアピール文などを参考にしたが，皆と同じ形式（格言から入るなど）になるのが嫌で昨年から変更した。「自分にしか書けないこと」「自分がアピールしたいこと」をシンプルに書いた。作成にあまり時間をかけなくてもいいと思う。

小論文　数年前にメセナの小論文対策を半年ほど受講していた。そのとき学んだ「序論・本論（柱を二本）・結論」の構成が私の基本になった。毎年の一次試験終了後すぐに取り組み完成品をたくさん持つようにした。完成品も毎年見直しを行い，自分が納得できる作品に修正した。他の受験生同様，本論の「柱」をテーマ毎にアレンジする方法をとったが，毎年その「柱」の数を増やして様々なテーマに対応できるよう備えた。添削については，以前は管理者等にも見てもらっていたが，今年はほとんど見てもらっていない。国語科教師に一度見せ，メセナでも 2，3 回見せた程度。ただその際，たまたま初めて添削していただいた方から新鮮なアドバイスを受けた。それまで凝り固まった書き方をしていた私にとっては，大いに参考になった。たくさんの人に見せるか，信頼できる人だけに見せるかいろいろな意見があるが，時間に余裕があれば前者，試験直前には後者と状況に合わせて依頼するのもよいと思う。

なお，一次試験と平行して小論文対策を行う方法もあるが，仕事等により勉強時間が限られている人は一次試験対策を優先させた方がよいと思う。私は小論文対策の講座を受講した年に一次試験対策が疎かになり，結局一次試験にも受からなかった。公民科のレベルの高さを痛感した。最低限一次試験の勉強時間を確保しつつ，プラスアルファで小論文対策を行えばよいのではないか。

模擬授業　一次試験後すぐに教科書を入手し，どの科目が指定されてもいいように備えていた。しかし，昨年と同じ経済分野で，しかも範囲が大幅に広がったことには驚いた。範囲が広すぎるのでどのように準備をするか迷ったが，最終的に小単元を 1 時間で行うという前提で略案をつくり，全部で 15 時間分の指導案を作成した。小単元のポイントをおさえつつ，普段の授業で自分が心がけている生徒参加型の授業づくりを目指した。教科書とチョークしか使えないため，授業に入る際に生徒を引きつけるトークをすること，効果的な発問を増やすこと，生徒の応答を交えて本当に授業をしている時のような雰囲気をつくること，などを心がけた。オーバーリアクションで笑顔を忘れずに，自分が楽しむことも意識した。練習では，すべての授業を一度は通したいと考えていたので，前任校，現任校，メセナの三ヶ所で模擬授業を見ていただいた。結果的に全てを通すことはできなかったがいろいろなアドバイスをいただき，本番では楽しく授業をすることができた。

授業終了後の質問については，出題されそうなキーワードについて準備していた（自己有用感／効力感／肯定感，キャリア，ガイダンス機能，アセスメントなど）。答申などに頻繁に出てくるキーワードの中で，自分にとって定義が曖昧なものについて調べておくとよいと思う。

個人面接　質問されそうな内容をノートに書き出し，答える内容を大まかにメモした。丸暗記すると本番で棒読みになるので，言いたいことを要約してメモするようにした。自分

のこれまでの臨任経験を踏まえつつ，独善的な発言にならないように，話が長くならないよう注意した。面接に臨む姿勢としては自然体を心がけた。無理にアピールしたり平静を装ったりせず，ありのままの自分を見せることを意識した。

一次試験

一般教養　メセナ予備校のテキスト＆チェックテストが中心。新たに学んだことや間違った問題については自作の一般教養ノートに書き加えていった。その際インターネット等を活用し，例えばオリンピックに関する問題が出題されたらすべてのオリンピックについて書き加えるなど，自分で内容を拡大していった（メセナの解説を丸写ししたことも何度もある）。また，新聞記事の中から試験に出題されそうな記事を見つけると切り抜いておき，ネットで情報を補うなどしながらノートに加えていった。このノートは事典代わりに活用した。内容が膨大なため，はじめは「それについて書いたという事実を憶える」ことからスタートしたが，何度も使用する中で，そのうち書いた内容だけでなくその前後にどんな内容が書いてあるかも視覚的に思い出せるようになった。

近年出題されるようになった数学や英語はほとんど勉強していない。1，2 問程度の問題に正解するために時間を使うより，専門教科に力を注ぎたいと考えたからである。ただし今年は英語の出題が多かったので，今後は何らかの対策が必要だと思う。

教職教養　メセナ予備校のテキスト＆月例テストが中心。こちらも教職教養ノートを作り，人名や用語などを書き加えていった。ただし近年は書き足す内容も少なくなり，一般教養ノートほど使用頻度は高くなかった。学習指導要領は出題箇所にマーカー（下敷きをかざすと字が見えなくなるもの）を引き，何度も読んだ。答申や報告などはインターネットを用いてパソコンに保存し，プリントアウトしていた。これも同じようにマーカーを引いてキーワードを憶えた。様々な答申・報告を読むうちに，最近の教育課題や教育行政の考える方向性などが把握できるようになっていった。

専門教科　メセナ予備校のテストや市販のセンター過去問などが中心。ここ数年で配布されたメセナの専門テストや倫理・政治経済のそれぞれのテストを毎年 2 回以上は解いた。また，センター過去問（現社・倫理・政経）も年に 2 回以上解いた。駿台の問題集も解いていたが，この問題と類似の問題が本番で出題されていた（「循環的失業」「構造的失業」）。これらを通じて新たに学んだことや分からなかったことを山川の用語集に書き加え，事典代わりに使用した。特に政治経済は用語集の内容だけではあまりにも不十分なため，インターネットや新聞なども活用して用語集の中身を充実させていった。倫理の原典資料問題は年々難易度が高くなっている気がするが，各出版社の教科書や資料集から抜粋しているのではないかと思う。メセナで配布された『倫理　原典資料集』には，私が間違えたり迷ったりした問題が堂々と掲載されていた。熟読することをお薦めする。

一次試験免除の申請について　出願資格のある人はもちろん申請した方がよいと思う。ただし，その後は申し込んだことを忘れるぐらい一次試験対策に力を注いだ方がよいと思う。

その他　1年間を通じて勉強しない時期がないように心がけた。昨年も二次試験の結果が届いた翌日から一次試験対策を始めた。私の場合，専門教科の出来が一次試験合格を左右したので，一般＆教職：専門の勉強割合は3：7もしくは2：8ぐらいにした。また，一次試験対策全般において，問題を解いている時間より解答・解説にあてる時間の方が2倍以上長かったと思う。自分が納得できるまで調べて理解するようにした。それ以外では新聞やインターネット，本（雑学系），テレビのニュースによる情報収集が大いに役立った。日常生活の中の出来事や見聞きしたことのほとんどを教員試験対策に結びつけて考えているので，家族からは「勉強が趣味になっている」とまで言われた。どうせやらないといけないことなら楽しんでやった方がよい。皆さんも勉強を趣味にして下さい。

最後に…

今回，平成23年度公立学校教員候補者選考試験に合格することができた。これまで支えてくれた家族や友人，応援していただいた管理者・先輩教師・同僚，職場で出会った生徒・保護者，対策講座を通じてお世話になった先生方，切磋琢磨した他の公民科受験生など，すべての人に感謝している。この出会いが一人でも欠けていれば私の合格はなかったと思う。

やっと合格することができたが,「なぜ今年は合格できたのか」「合格の秘訣は何か」と聞かれても，正直なところ分からない。今年は面接で失敗したと感じたので合格は厳しいと思っていた。

受験生の皆さんにとっては次の試験まで長く辛い日々がスタートしていると思うが，自分の意志で教職を志す以上はやるべきことをやり続けるしかない。夢は「あきらめないこと」よりも「あきらめること」の方が難しい。あきらめずに強い決意で臨むのなら，ただひたすら「その時」が来るまで辛抱強く努力することです。努力してもなかなか結果が出なければ，努力の仕方を再検討すべき。

私は試験に合格したが，やっとスタートラインの後方に並ぶことを許されたに過ぎない。無事にスタートして走り続けゴールを迎えるまで,「何のために教師を志したのか」ということを忘れず，今後も渇いたスポンジのように様々なことを吸収して教師として成長していきたいと思う。

将来，本務教員として一緒に働ける日を楽しみにしています。

高等学校・公民　　二次合格

二次試験について

適性検査　YG性格検査。特に対策は必要ないと思う。

論文試験　私は，論文が苦手で二次対策期間中に時間内に論文を仕上げたことがありません。それどころか，合格通知が届いてから二次対策を始めたので，書いたテーマは6つほどです。正直，一次試験ばかりに集中し論文対策講座を受講せずにいたことを深く後悔しました。ただ，教員の家族からは，論文対策の必要性を何度も言われ，ときどき書いては

添削してもらったり，意見をもらったりしていました。また，学習指導要領を暗記ではなく，解説の意味を考えながら読んでいたのが良かったと思います。

これから試験を受ける皆さんには，論文対策講座を受講することを強く勧めます。時間の都合上，対策講座を受講できない方は，書店で論文対策テキストを購入し，最低でも週に１度論文を書くことを勧めます。テーマを基に学習指導要領や関連する本を読んだり，周囲の方々の意見を聴いたり，教育時事に注目し，自分なりの教育観をしっかりと培っていくことが大切だと思います。

論文は，上手く書こうとかたちばかりに気を遣うのではなく，教師として沖縄県の子どもたちをこのように育てていきたいという熱い気持ちを伝えることが大切だと思います。

模擬授業　補充経験がほとんどなく公民科の授業をした経験がない私は，メセナの模擬授業対策１回目で大失敗をしてしまいました。与えられた課題を少しでも多く伝えようと焦り，授業を行うというよりは，持っている知識を少しでも出そうと必死でした。もちろん指導の際にはその点を強く指摘されましたし，実際の教室で授業をしていることをもっと意識するようになどたくさんの指導を受けました。それから空き教室を長時間借りて必死に練習し，家に帰ってからも，家族に試験官役をしてもらい深夜まで何度も取り組みました。相手は高校生であることを意識できるようになり，言葉遣いや話す速度を身に付けていきました。ちょっとした工夫が生徒の学力に大きく影響するということを，この対策を通して考えさせられました。当日は，自信を強く持ち，私は教師なのだという気持ちで堂々と行うことができました。

これから試験を受ける皆さんには，一次試験対策の学習の際に教材研究や資料集めをしながら学習することや，指導案を作成しながら学習することをお勧めします。

面接　今年度の一次試験の一般教養で，沖縄県の教育委員会の人数を問う問題がありました。さすがに，委員の名前まで問われるとは思わず把握していませんでした。教育長と委員長の名前だけを述べて，あとは把握していませんと答えました。面接指導では，知らないことは正直に「分かりません」と答えるようにと言われたのでそのようにしました。メセナからいただいた面接対策の質問内容以外にも，書店で購入した本を利用して面接ノートを作りました。メセナでの面接指導１回目では，練習通りに一通り答えることができましたが，答えをあらかじめ用意していたかのように聞こえるとの指摘を受けました。2 回目の面接指導では，アレンジされた質問内容に上手く答えることができませんでした。質問内容に対して答えだけを作ろうとしていたことが原因と思い，質問内容一つ一つに対して教師としてどう思うかを考えてみることにした。それからは，自分の本当の気持ちを表現できるようになり，当日の面接では，しっかりと笑顔で答えることができたと思います。

これから試験を受ける皆さんには，今から面接ノート作りを始めて，教育問題に対して自分なりの教育観や指導観をしっかりと築いていくことをお勧めしたいと思います。

一次試験について

教職・一般　メセナのテキストを中心に学習をしました。

教職教養は，暗記ではなく自分の教育観を高めるものとしても内容を把握しながら学習しました。内容を理解できると試験でも十分対応できますし，二次試験のときの対策にも大いに役立ちます。

一般教養はメセナのテキストだけでなく，高校時代の教科書でも学習しました。意外に当時の教科書を用いたことで，高校時代に学習したことを思い出しながら知識を身に付けることができました。

チェックテストや月例テストは，間違えたところを何度も見直し繰り返し解きました。間違えた箇所の解答の解説を飽きるほど読むと答えが頭に残ります。一日に 2 時間ほどの教職・一般の学習時間をつくると，焦らず学習できると思います。

専門　メセナでの講義をしっかりと受けるために，予習・復習を行うことが大切 !!　講義の始めに公民カリキュラムを配布されるので，それを確認し次回の講義の予習や，今回の講義の復習を必ず行って下さい。それ以外にも，講義の後半部分（大体 1 月以降の講義）のものも少しずつ学習して下さい。そうすると，後半の講義を受ける頃は，前半の講義の復習ができます。メセナの講義だけに頼らず，自分で先を進む学習が必要です。

あと，センター試験は過去 10 年分ほどは必ず解くことです。私は，1 回問題を解くことに点数と間違えた箇所を記し，全部で 4 回は解きました。11 月から少しずつ始めて，6 月初旬には，4 回ずつ全て解き終わり点数も満点でした。ちなみに正解しても解いた問題の解説は毎回読み，3 回目からは解答の解説を説明できるようになりました。今回専門の点数が上がったのもこの学習が効果的だったと思います。

そのほかにも，先生から配布された問題は最低 3 回は解き，資料は何度も目を通しました。公民の政治経済分野は時事問題と関係していることも多いので毎年発行されているニュース解説などを購入して学習することをお勧めします。倫理は原典問題が年々難しくなっていることもあるので，人物に関する書を読むことをお勧めします。今年度の講義では，上高先生が人物について述べさせる小テストを行ってくれたのでそれがとても良かったです。ちなみに余談ですが，デカルトについての書を読んで，教科書にはない意外なデカルトを知り，倫理の人物を学習するのがちょっと好きになりました。教師として，生徒に公民を好きになってもらうことが大切 !!　自分が学習する際も公民を楽しく学習することです。

最後にこれまでを振り返って

大学を卒業し，試験を受けること 6 回目……。今回やっと合格することができました。2 年前，新聞でメセナ予備校を知り，入校を決意したのが幸運だったと思います。メセナでの初めての授業で上高先生からの厳しい一言……“ 公民科はこの先もおそらく合格者は年に 1 人。この中の全員は受からない。”私は，合格することができるのかと不安になりました。入校して 1 年目は，自分の知識の少なさを実感しました。講義についていくことに必死でした。結果 1 次試験不合格。

2 年目の今年，私は学習方法から見直し計画を立てて学習することにしました。時間を有効活用し，集中して学習するためにも計画表を作成しました。計画表に示した時間は，よっぽどのことがない限りは決して変更しません。また，計画表時間内の学習時には，一切の飲食や携帯電話などの使用は禁止したりしました。その代わり休憩時間を 10 分程度

設けて好きなことをする時間もつくりました。一日の学習では，専門3時間，教職2時間，一般2時間，専門の試験＆解答2時間というものです。この計画表通りに行うと，就寝は深夜2時です。朝は5時に起床しますので，一日の睡眠は3時間でした。この1年は計画をしっかりと守り通しました。過酷なスケジュールでもやり抜く覚悟がなければ決して合格はつかめないと思います。

最後に，こんなことを書くと不愉快になる方もいると思いますが，合格できた今だからこそ伝えたいことがあるので書くことにしました。公民科はご存じの通り，大変厳しい採用状況です。今年度合格者が増えたとはいえ，来年度もそうであるとは思いません。いつか夢は叶うという甘い世界ではないのです。今回2次試験まで進み，改めて教師という職の責任の重大性を実感しました。だからこそ，簡単に考えてほしくないのです。いずれ受かるだろう，一次免除の条件がそろったらそれを使えるなどと思っているなら，教師になることを諦めた方がいいと思います。

また，講義は遅刻しないで出席していますか。配布された問題を確実に解いていますか。合格するということだけでなく，教師として子どもたちに立派な大人としての姿を見せられるかが大切です。本当に教師として目指す目標があるなら，もう少し自分を追い込んで学習に取り組んでほしいです。偉そうなことを言ってしまいましたが，教職に対する熱い思いがあるのはみんな同じです。これから，頑張ってください。

メセナの先生方，事務職員の皆様，本当にお世話になりました。メセナでは，学問だけでなく，人間としての在り方生き方を学べました。沖縄県の子どもたちの教育に全力を懸けて努めていくことで，先生方やこれまでお世話になった多くの方々への恩返しをしていきたいと思います。本当に感謝でいっぱいです，ありがとうございました。

3　地歴

高等学校・地歴　　二次合格

二次試験

適性試験　YG 検査でした。まったくの対策の必要はなし。正直に答えました。

小論文について　今年の課題は「道徳教育の充実に，本県の教師としてどのように取り組みますか」でした。去年の傾向から新学習指導要領に絡めた出題になっていました。平成24年度の完全実施にむけて，来年も新学習指導要領に即した出題が続く可能性があると思います。

論文は，今年は講座を受講しませんでしたが，昨年・一昨年と石川先生に大変お世話になりました。

先生の鋭いアドバイスがなければ書けませんでした。本当にありがとうございました。

論文については，時間の割に字数が多いのでまったく対策なしで試験を受けると大変です。

一次試験と並行して対策することをお薦めします。論文講座では課題を毎回提出し，Aをもらえるまで何度も書き直すようにしました。

完成品をたくさん作っておくと何が出ても慌てません。ちなみに小論文対策では，字を丁寧に書くということの大切さを改めて認識しました。

字をしっかり書く先生に生徒は好感を持ちます。現場にいればいるほどそのことは身にしみます。さらに，諦めずに課題を書いたことで辛抱強く物事に取り組むことの大切さを感じました。論理的に書く力だけでなく，忍耐力も身に付いたのがメセナの講座だったと思います。

模擬授業について　去年同様，入室すると課題がかかれた紙を渡されて，5分で構想を練って7分で授業をしなさいといわれました。出題教科は一次合格の通知と一緒に送られてきました。今年は学習指導要領の地理Ｂの「現代世界の系統地理的考察」の分野から4つの領域のうちどれかを出すということでした。試験前に他の受験者から「教科書に付属されている指導書を持ち込んでよいか？」という質問がありましたが，許可されませんでした。授業内容をまとめたノートの持込もダメとのことだったので板書計画がカギになります。

専門教科の授業を通じて出題されてもよいようにしておくことと,「自分ならこのように授業する」ということを常に意識しておくと良いでしょう。試験中は，生徒の反応を想定して授業を行いました。発問への生徒の回答を想定したやり取りを心がけました。例えば，ほめるシーンを作るのは大事だと思います。また，これは日々の授業でも大切にしているのですが，単元ごとのつながりを意識することです。今回は「ケッペンの気候区分」についてでしたが，その前の単元で気候の決まり方を学習したと想定して，そのおさらいを導入に入れました。「前はこんなことを勉強したね。じゃ今日はこんなことを勉強するよ」ということを強調しました。

授業の後，去年同様,「指導と評価の一体化」について質問がありました。これも日々の授業を考えながら答えました。

以上のような感じで模擬授業は進みました。メセナでもこのような流れで練習を行います。私は特に我部先生・宮尾先生のお二人にみっちり鍛えていただきました。黒板の使い方，字の書き方，言葉づかいなど，実際の現場でも役に立つことばかりでした。ここで学べた授業のプロとしての心構えや立ち振る舞いを今後も大切にしていきます。

個人面接について　質問には,「簡潔に，具体例を交えて」を意識して答えるようにしました。元々私は，口下手で，こういう面接は緊張して何もいえなくなったということが過去の受験ではありました。しかし，今年は同僚の先生から「最後は笑顔で決まる」といわれたので普段生徒と接する時のことや同僚の先生たちとのやり取りを思い出しながら，面接を受けたのでリラックスして答えられと思います。面接官の笑顔もありましたので，非常に答えやすかったです。質問は現場での対応力を見るものがほとんどでした。「自分ならどうする」を意識して，練習を行いました。

ちなみに私の練習方法は，想定される質問を「面接ノート」に書き，自分の考えをまとめるという方法です。頭の整理をつけて，丁寧に具体的に答えることが大事だと思います。

その他

今回は6度目の受験でした。周囲から「地歴は合格者が少ないので，校種を変えたら」といわれたこともありましたが，諦めずに取り組んだことが合格につながったと思います。

アドバイスというのもおこがましいですが，これから受ける受験者の方には以下のことを大切にして欲しいです。

1. 規則正しく勉強する習慣をつける。

2. メセナからもらった課題は，何度もやる。

3. 気分転換を忘れない。

4. メセナの授業を楽しみながらやる。

1. については，私の高校時代の恩師からの言葉でもあります。日頃からコツコツやることです。
2. については，一次合格には不可欠だと思います。毎回のチェックテストや月例テストも同様です。
3. 時には，遊ぶことも勉強だと思います。
4. については，本当に大切だと思います。

我部先生や宮尾先生からは，専門の授業の中で興味深い話をたくさん聞けましたし，上高先生からは，自分の一生をかけて教育に取り組むという覚悟を教わりました。また，伊禮先生や古堅先生からは教える楽しさを学ぶことができました。メセナの先生方からは，本当に多くのことを学びました。自分が人間的に成長できたのもここでの日々が大きかったと思います。

4　英語

高等学校・英語　　二次合格

高校英語受験者へ

高校英語は 1 点が命取りです。1 点も落とさないという気持ちで，一般，教職も 70 点は取れるように頑張った方がいいと思いました。専門は今回すべて 1 問 3 点でした。1 問間違えただけでかなり順位が変わります。何度も見直すことが大切だと感じました。でも直してミスしたところが私は 2 カ所ありました。なので答えを変える時は慎重に……。「やったことは間違えない」を意識し勉強するのが一番だと思います。実際一般もやったことのある問題を数カ所間違えました。

私は高校で勤務しながら勉強しました。今年は忙しい学校だったのですが，5 時までには仕事を終わらせるよう，5 時までは仕事に集中し，それから図書館で 6 時半から 10 時まで勉強しました。（1 年間）どんなに仕事がおそく終わっても図書館には行きました。続けることが大切だと思っていたからです。4 月からは平日は飲み会等にもほとんど参加せず，勉強しました。土日は昼ごろから図書館に行きました。この図書館での時間が今回の一次合格につながったと思っています。教職・一般，リスニング，英単語，英文法の間違い探し，長文，ライティング（一本書く）というメニューを毎日こなしました。出る分野を毎日やるという勉強方法のおかげで，やったことを忘れてしまって，一からということがなくなり，効率よく勉強できました。ゴールデンウィークなどは 2 日くらい遺跡巡りをしな

がら息抜きもしました。試験1週間前は時間を賢く使い，はやく図書館に行き，1年間やったことを総復習しました。この1週間の集中は大きく一次合格につながったと思います。

二次試験は去年夏休みに任用期間がきれていたので，その間に対策していました。去年は一次も駄目でしたが，今回勤務しながら（夏季講座等もこなしながら）二次対策ができたのは，去年の夏休みにある程度自分の考えを言葉にして小論や面接ノートにとめていたからだと思いました。一次試験の対策で生徒指導関係の資料に目を通す時には，自分の考えをまとめて書いておくといいと思います。

5　音楽

音楽　二次合格

平成23年度（平成22年度実施）公立学校教員候補者選考試験の音楽を受験し，合格したものです。報告が遅くなってしまい申し訳ありません。メセナの先生方のおかげ様で，初受験から4年目にして合格することができました。厳しく温かく指導してくださった先生方には，本当に感謝しております。今後も学習を怠らず，研鑽を積んでいきます。ありがとうございました。

一次試験について

一般教養の対策を全くしなかったため，過去最低点を取ってしまいました。メセナのテキストを使って学習していれば，例年のように19から23点はとれたのではないかと思い悔んでいます。教職教養は，講義を聴きながら自分の苦手な分野をチェックしました。

二次試験について

論文試験　テーマを読んですぐに書き出しました。しかし，書いている途中で，柱にしようと考えていた二つの手立てが全く同じことを言っていることに気が付き，急遽二つ目の手立てを替えて完成させました。結果，序論と結論を不自然に結びつけた文章になってしまいました。「すぐに書き出すのではなく，じっくり考えてスタートすることが一番の時間短縮」という石川先生，上高先生の教えを忘れるほど緊張していた自分に落ち込みました。結局，過去最低点数をとってしまいましたが，本校の石川先生，沖縄校の上高先生に添削して頂いたことは，今後の実践で活かして行こうと思っています。

模擬授業　生徒にとってためになる授業を展開するためには，学習指導要領に根拠を置くことが一番の近道だと考え，小・中・高・特別支援学校の学習指導要領をじっくり読みました。そして「我が国で長く歌われ親しまれている歌曲」を教材観とし，「歌詞の内容や曲想を感じ取る」ことを指導観として構想を練りました。また，職場でお世話になっている先生から，自分の長所を短時間でどれだけアピールできるかが勝負だと助言を頂いたので，専門とするピアノを使って，生徒が自ら歌いたくなるような授業を目指して，思う存分楽しみました。例年に比べて点数は振るいませんでしたが，自分の中では過去最高の模擬授業ができたと思っています。

個人面接　私は面接に対して苦手意識が強く，毎年それが前面に出てしまいました。メセナでの練習では号泣した経験があります。二次試験で不合格になるたび面接試験に対する恐怖心は強くなり，今年もメセナの練習ではしどろもどろに受け答えをしました。しかしそんな私に対して，練習の後，伊禮先生が「あなたはもっと自信をもっていい」とおっしゃって下さいました。その言葉は,「私は自分に自信をもっていいの？」「なにを根拠にして？」と自分自身のことを考えるきっかけを与えてくれました。私は臨時教員として勤務していく中で，生徒に対する熱い思いを抱き教師を志したこと，教職に就くことを目指し懸命に勉学に励んできたことを思い出しました。そしてようやく，自分の思い，積み重ねてきた時間を自信にして，それをアピールしたらよいのだと気がつきました。そのおかげで，本番は，つたない言葉でも大きな声で自分の思いを面接官に伝えられたと思います。

上高先生がいつもおっしゃるように，面接官は，受験者がどれだけの知識をもっているかを見たいのではなく，どれだけの思いをもって受験に挑んでいるかを見たいのだと思います。つたない言葉でもいい，どんな時でも明るく，元気よく，生徒の未来について考えられる人間であることを見せられればよいのだと，今回の受験で強く感じました。

私はいつも自分に自信がなく，自分の意見を口に出すことができませんでした。それを指摘されるたび，ますます自信を失っていた私が，客観的に自身を見つめることができたのは，伊禮先生の温かいお言葉のおかげです。本当にありがとうございました。

受験を終えて

私は二次試験で不合格になるたびに，自分は教師になってはいけないのではないかという思いに悩まされ，諦めようかと考えましたが，生徒の顔を見るたびに，やはり教職に就きたいという思いが湧いてくる日々でした。仕事で多忙であるにもかかわらず，私に勉学に励んでほしいと，私がやる前にほとんどの家事を先取りしてやってくれた家族，また，勉学を思う存分してほしいと幼少のころから願ってくれた両親には本当に感謝しています。

まだ教師としてスタートラインにも立っていませんが，受験の道のりで得た経験を今後に活かしながら生徒の教育に尽力していきます。メセナの先生方，本当にお世話になりました。先生方の姿勢から得たものは，はかり知れません。「何度も二次試験で不合格してよかったのでは」という上高先生のお言葉。おっしゃる通り。その言葉，納得せざるを得ない，得るものばかりの講義と経験でした。

6　小学校

小学校　二次合格

今回，1 次試験の算数で，点数がとれたことが，合格につながりました。これまで，何年も試験を受ける中で，算数で点数が取れず悩んでいました。今回,「問題が易しかった」と周りは話していますが，私としては，算数にとても苦手意識があり，今までの自分では，算数で点数をとることが難しかったと思います。それが，安部先生の授業で分かりやすく説明していただき，ときどき励ましていただきながら自信をもたせて下さったことをありがたく思います。試験のためだけでなく，現場に立ち，子どもを前にした時に教師として

どうあるべきかについてもいろいろ考えさせられました。これからの糧にさせていただきます。

また，私は，一昨年，2 次試験で不合格となり，論作文の点数がとても悪かったことから，今年 1 月から論作文対策で，石川先生にお世話になりました。論作文を書くことに劣等感があった私でしたが，何度も添削をしていただき,「書くこと」に慣れることや，書いていくほどに教職に就こうとする，自分の意思や考えをまとめていくことができました。心より感謝申し上げます。

7　養護教諭

養護教諭　二次合格

私は，今回一次免除で合格することができました。一次免除の結果が届いた時，喜びよりもプレッシャーを感じ，周囲に一次通過したことも言えずに不安だけが積もっていました。二次試験対策がはじまるまで，少し時間があったので本屋さんに行ってたくさんの参考書を買って読んだり，文科省や県から出された公文書を読み返し情報収集を行いました。私は，一次免除されたからには「どうして，こんな人が選ばれたの？」と思われないよう，常に自分にプレッシャーをかけていました。それは，合格した今も心がけているつもりですし，これからもずっとこの緊張感を忘れずに勤めていこうと決意しました。

二次試験は，メンタル面との勝負だと思います。体調をくずしては，意味がありません。私は一次免除の通知が届いてから試験当日まで十分な睡眠がとれませんでした。ストレスから様々な身体症状も現れ，精神的にもだいぶ参っていました。体調管理を整える為，休養や食事をきちんととるように心がけました。そんな中，私が，無事に試験を終えられたのは，メセナの先生方の温かいご指導と共に学び合えた仲間がいたことです。同じ養護教諭受験生でしたが，ライバルというよりは仲間として一緒に頑張ってきました。二次試験対策で，別の塾に通っている友達とも情報交換しましたが，メセナの対策は，カリキュラムや先生方の丁寧な指導など他の塾より断然良いと思いました。私が合格できたのは，メセナの先生方や事務の皆様のおかげだと心から感謝しています。本当にありがとうございました。